

室蘭工業大学-学報

NO.619



入学宣誓式の様子（1ページに関連記事あり）

2021年 5月号

目 次

◇ 学内の動き ◇	
令和3年度 入学宣誓式を挙行	1
超小型衛星「ひろがり」が宇宙空間でのプラスチック版パネルの展開に成功	4
令和3年度初任教職員研修を実施	5
◇ 情報・資料 ◇	
令和3年度科学研究費助成事業の交付内定	6
◇ 外部資金 ◇	
民間等との共同研究の受入れ	12
奨学寄附金の受入れ	14
受託研究等の受入れ	15
その他の補助金の受入れ	16
◇ 人 事 ◇	
人事異動	17
表彰	18
◇ 学内会議 ◇	
学内各種委員会等の開催	19
◇ 日 誌 ◇	
学内行事	20
学外行事	20

学内の動き

令和3年度入学宣誓式を挙行

理工学部第3回並びに大学院博士前期課程第57回及び大学院博士後期課程第32回入学宣誓式を、4月5日(月)本学体育館において挙行了しました。

今年度は学内関係者のみ参列のなか入学宣誓式が行われ、空閑学長から次のとおり告辞が述べられました。

告辞

皆さんの入学は室蘭工業大学すべての教職員、在学生にとって大きな喜びであります。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また長年にわたり勉学の環境を整えられ、本人たちの努力を支えてこられたご家族ならびに関係者の方々にも、心から敬意とご祝辞を申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で3回に分けた入学宣誓式となりました。令和3年度の理工学部入学の新入生の皆さん、大学院入学の皆さんの晴れ舞台となる入学宣誓式を心待ちにされていたご両親、ご家族を初め関係者の皆さんにもご出席いただくことは叶わず、心よりお詫び申し上げます。

本年度入学者は、理工学部学士課程の621名、編入学生39名、大学院博士前期課程233名、博士後期課程9名、合わせて902名の皆さんです。今年はコロナ禍での影響も大きかったと推察されますように、海外からの留学生は学部には15名、大学院は18名、合わせて33名と昨年の52名と比べると少ない人数となっています。また理工学部学士課程入学者621名中、日本人学生の出身地は33都道府県に及んでいます。編入学生も含めた学部生660名の入学者に着目すると、今年は海外からは4ヶ国、15名(2.3%)、道外からの入学生は195名(29.5%)、道内からは450名(68.2%)となっており、コロナ禍の影響もあり海外や道外出身者数が減少し、道内出身者数の割合が昨年(法人化以降では最少)と比較すると10ポイント程度増加しました。

それでも、本学の留学生の諸君の総数はこの4月で214名(昨年215名)と過去最高の昨年とほぼ同人数となっており、教室に、研究室に、大学のキャンパスのあちこちにグローバルな多様性にあふれた環境を有する大学であります。

さて本日は、現在本学が取り組んでいる教育改革などホットなニュース、そして皆さんが本学在学中の学生時代にどのようなことを心がけるべきか、身につけるべきかについて、私からの期待を述べさせていただきたいと思っております。

本学は全国にある86の国立大学の一員として、「地域

貢献」を大きなキーワードとして掲げ、北海道の課題解決は、日本の、さらには世界の課題の解決につながると考えて、教育改革・大学改革に取り組んでいます。本学は工学部から理工学部へと大きく変わって、今年度が3年目となります。自然豊かなものづくりのまち室蘭の環境を生かして変化が激しい産業界で活躍しつづける幅広い理工系人材を育てるための教育改革を行い、大きく進化しました。物事の本質をつかみ、探究心を養うために自然科学・理工学教育を全学的に充実させ、さらにICTやAIの本質を理解して使いこなし、もの・価値づくりに貢献できる学生諸君を育てる工業大学ならではの情報教育を推進しています。

本日、この理工学部に入学者660名の皆さんは、本学の新しい教育を学ぶ第3期生ということになります。学部入学生の諸君はまず、講義棟で学びが始まります。講義棟のメインであるN棟は、全面改修工事が一昨年の秋に終了したばかりで、皆さんは新装された教室でのスタートとなります。学生諸君が積極的に自発的に授業に取り組むことができる、アクティブラーニングの手法を十分に活用できる教室が多く整っていますし、学習のための設備も充実させていますので、是非その機能を活用して頑張ってください。さらに、少し不便もおかけすることにはなりますが、本学のもう一つの学びの中心である図書館も大改修・増築を今年度から着工する予定です。皆さんの教育にもデジタルトランスフォーメーション(DX)の波は確実に押し寄せており、本学の学びの象徴とも言える図書館で、DXに対応した国立の工業大学ならではの図書館に仕上げたいと考えています。皆さんも大いに期待してください。

さて、皆さんはどのような目標・目的をもって室蘭工業大学に入学されたことでしょうか。

学部入学の皆さんはこれから貴重な4年間、大学院博士前期課程、後期課程の皆さんはそれぞれ貴重な2年間、3年間の時間を確保できたこととなります。朝から晩まで正々堂々と誰にも気兼ねなく勉強できる、とても貴重な時間であり、我々社会人からみるととてもうらやましい時間ということになります。本学で大いに学び、伸びしろを大きく大きく作りましょう。本学で、まずは幅広い理工学の基礎、工学と科学の専門基礎知識を学びましょう。そして、先ほども述べましたように、工業大学ならではの情報技術を全ての学生諸君に身につける教育プログラムを用意しております。本学の優秀な教授陣が書き下ろしの教科書を作成して皆さんをお持ちしております。まずは、AIや情報科学の本質を理解し、国立工

学内の動き

業大学卒業生として必要十分な基礎知識を身につけた科学技術者を育てたいと考えています。これに応えるよう、皆さんも頑張ってください。皆さんが自ら確保した貴重な時間の計画と夢を持って、能動的に授業に臨んでください。

しかしながらこの度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の教室での対面授業や演習・実験に加えて、一部の授業ではオンラインサービスを利用したりモート環境での授業の実施も想定しており、いわゆるハイブリッド型の授業スタイルとなります。我々教職員も、昨年度一年間の経験を活かして、このような環境下で最大の授業効果を得られるように、奮闘中であります。学生諸君の皆さんにも、通常の教室での対面授業よりも、学生諸君が自ら、積極的に集中して、授業に取り組んでいただく必要があります。私たち教職員も全力でサポートいたしますが、勉強するかしないか、これからの学生生活が上手くいくかどうかは、皆さんの対応・心がけにかかっていることは言うまでもありません。

毎年新入生諸君に申し上げますように、「物事は何でも最初が肝心」であり、4年間の学生生活のなかで、最初の1年が非常に重要となります。最初の1年を順調に乗り切ると、残り3年間も安定した学生生活を送ることができる確率が大幅に高くなります。これは統計的なevidenceに基づいた確かな話です。入学時から卒業時にいたるまでの皆さんの大学での成績を統計的に見てみると、本学に限らず、実は入学試験そのものの成績と卒業時の成績にはあまり相関はありません。ところが、1年終了時の成績と卒業時の成績にはかなり強い相関があります。学生時代は、まじめに、真摯に取り組む姿勢、心構え、すなわち努力する姿勢が重要です。とりわけWithコロナ・Afterコロナの時代に大学生となった皆さんは、ハイブリッドスタイルの授業環境でスタートすることになり、自ら、大学生としてひとり立ちした大人としての観点から、真摯に学習に取り組む姿勢が問われます。本学としても、初年次教育の部分にはとりわけ教育力の優れた教授陣を配置しておりますので、是非、これに応える能動的修学を心がけてください。「大人としての観点からの学び」というのは、勉強しなさいと誰かに言われて、勉強するのではなく、自らその必要性を十分に理解して能動的に、主体的に自己責任の下、学ぶということです。是非、心に留めておいてください。

さて私は本学の強みは、「確かな研究力をベースとした教育力」にあると強く信じています。「確かな研究力」というのは、世界水準の世界に通用する研究力ということです。例えば本学のホームページでも取り上げていますように、ロンドンに拠点を置くTimes Higher Education (THE) の世界大学ランキング（「研究力」を主な指標として、Teaching, Research, Citations, Industry Income, International Outlook の4つの観点から評価される）に3年連続のランクイン（1001+位）、Engineering部門では601~800位となり、国立工業系大学のなかでは東京工

大について、九州工大と東京農工大と同じく2位グループとなりました。これは単に評価の一つの切り口ではありますが、大変素晴らしいことです。

私は学長に就任した6年前、本学の発展を勢いづけさせるために、何かしら本学が日本一になることを生み出せないか？見つけられないか？ということ常々模索しておりましたが、なんと本学は、昨年4月末に公表された朝日新聞出版社の大学ランキングによるとコンピュータ科学分野の論文1報あたりの被引用指数（他の研究者の参考となり論文の質が高いことになる）では、3年連続で日本一に輝いています。さらには、工学分野でも日本で第2位という快挙です（朝日新聞出版：大学ランキング2019~2021年度版）。もちろん、私の力ではなく本学教員の力の結集であります。まさにDream comes trueです。

また本学の学生諸君の頑張りも素晴らしく、つい最近の報道でもありましたように、学生諸君も開発に携わった人工衛星「ひろがり」の打ち上げ成功がありました。まさに研究に携わった学生諸君や教員の皆さんの夢が宇宙に打ち上がったわけで、宇宙空間での実験の成功を心より期待しています。無事に「ひろがり」からの電波を地上で受信できたと聞いています。学生諸君の夢が叶うまでもう少しまでできました。またこの打ち上げには、一般の皆様にも協力いただいたクラウドファンディングの資金も投入されています。まさに、evidenceに基づいた「確かな研究力をベースとした教育力」の成果のひとつだと考えます。

皆さん、夢を持ってば叶います!!

このようなevidenceに基づいた本学教授陣の裏付けのある「確かな研究力をベースとした教育力」こそ、本学の実績であり強みです。私たちが目指す教育改革を裏付ける本学教授陣も万全の体制で臨みます。

最後になりますが、本学が目指している大学院充実の話をさせていただきます。皆さんは理工系の国立大学と私立大学の大きな違いはどこにあるかご存じでしょうか。国立大学のほうが、はるかに大学院生数の割合が高いことにあります。国立大学の大学院生の割合は、全大学院生の60%に達しています。国立大学の方が、学生さん一人あたりの教員数が多いことがよく取り上げられます。これは理工系大学であれば、教員の研究力の違いとして顕著であり、大学院の重要性につながっています。本学も含めて理工系における国立大学の大きな特徴は大学院の充実にあります。

我が室蘭工業大学においても、この度は、博士前期課程に233名、後期課程に9名の新入生を迎えました。学長としましては、先ほどから述べておりますように、本学教員の「確かな研究力」、すなわち、「世界水準の研究力に基づいた教育力」により、一層の大学院教育の充実を目指しています。教職員一丸となって、室蘭工業大学の特徴、強みを発揮できるようにチャレンジを続けてい

学内の動き

きたいと考えております。ぜひ、我々室蘭工業大学の教員の研究力・教育力の優れたところを吸収して、世界で活躍する高度理工系人材の一員として育ててください。

以上、新入生の皆さんに私からの大学生活での心構えと期待を述べさせていただきます、入学宣誓式の告辞とさせていただきます。

令和3年4月5日

室蘭工業大学長 空閑良壽



超小型衛星「ひろがり」が宇宙空間でのプラスチック版パネルの展開に成功

室蘭工業大学と大阪府立大学が共同開発した超小型衛星「ひろがり」が4月4日、宇宙空間でのパネル展開に成功し、開発に関わった学生と教員がこれまでの経緯や現状を説明しました。

本学は2017年に、大阪府立大学との共同開発を開始し、卒業生を含め9人の学生が研究開発に携わり、約4年で実験の成功に至りました。

開発の中心を担う大学院修士2年のアン・イ・ヨンさん（マレーシア出身）は「今後は衛星のカメラで、板のゆがみの程度など形状を計測する実験を進めたい」と話

し、同修士2年の長飛洋さんは「パドルの展開に時間がかかったが、諦めず立ち向かった結果、奇跡が起きた」と喜びを語りました。

内海教授は「大阪府立大と共に励まし合いながら、成功に導くことができた。学生にはプレッシャーがあったと思うが、良い結果を報告できてよかった。」と働きを称えました。

実験は8月ころまで続き、パネル展開と軌道上での形状計測を行う予定です。



大学院修士2年の長飛洋さん、内海教授、
修士2年のアン・イ・ヨンさん



テレビ局、新聞社にむけた記者会見の様様

令和3年度初任教職員研修を実施

4月7日（水）に本部棟中会議室において、本学初任教職員研修を実施しました。

この研修は、新たに採用された教職員に対し室蘭工業大学の教職員としての心構えを自覚させるとともに、初任教職員として必要な基礎知識を与えることを目的として行われるもので、令和2年10月1日以降に採用された教職員9名が受講して実施されました。

研修当日は学長の特別講義から始まり、本学における教育・研究・社会貢献の概要、コンプライアンス、教員の多面的評価システム（ASTA）についての講義が行われ、受講者は真剣な面持ちで耳を傾けました。

なお、受講者は次のとおりです。



初任教職員研修の様子

初任教職員研修受講者

所 属	職名	氏 名
もの創造系領域	准教授	栞原 浩平
もの創造系領域	助教	江口 光
しくみ解明系領域	助教	鈴木 元樹
ひと文化系領域	准教授	木元 浩一
ひと文化系領域	准教授	白 尚燁
ひと文化系領域	准教授	PERREM JOHN GUY
ひと文化系領域	講師	落合 いずみ
ひと文化系領域	講師	SUSTENANCE SCOTT NIGEL
保健管理センター	看護師	前川 良江

令和3年度科学研究費助成事業の交付内定

《新規分》

(千円)

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(B) 一般	もの創造系領域 教授 青柳 学	ハイブリッド超音波浮揚システムによる6自由度アクロバティック・マニピレーション	4,900	1,470	6,370
基盤研究(C) 一般	もの創造系領域 教授 市村 恒 士	都市公園リノベーションに資する造園業の地域課題解決型事業推進に向けた経営学的分析	1,200	360	1,560
	もの創造系領域 教授 今井 良 二	冷媒流量を極限まで低減させる、薄液膜蒸発を利用した高密度除熱デバイスの開発	1,400	420	1,820
	もの創造系領域 教授 小室 雅 人	鋼繊維混入無孔性コンクリートの耐衝撃用途構造物への応用・展開	1,100	330	1,430
	もの創造系領域 教授 辻 寧 英	目的特性を与えるだけで光デバイスを自動設計する多目的トポロジー最適設計法の開発	2,100	630	2,730
	もの創造系領域 准教授 加野 裕	集束表面プラズモンを利用した顕微複屈折測定法の開発と細胞異常診断への応用	1,600	480	2,080
	もの創造系領域 准教授 真境名 達 哉	全室暖房完成時代のエンプティネスト期を迎えた住宅からみる寒地住宅の新たな可能性	1,300	390	1,690
	もの創造系領域 准教授 成田 幸 仁	トラクションドライブの転がり疲労損傷メカニズム解明と疲労強度予測式の導出	1,900	570	2,470
	もの創造系領域 准教授 船水 英 希	フローサイトメトリ法による血液凝固構造の完全な3D情報復元と新規血液診断法の創出	1,500	450	1,950
	もの創造系領域 准教授 畠 中 和 明	航空機の姿勢制御に適用する流体的推力偏向ノズル内流れ場の理解と偏向性能の最適化	1,000	300	1,300
	もの創造系領域 講師 松本 大 樹	噴流群騒音の同期現象メカニズムを応用した騒音抑制法の開発	2,500	750	3,250

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(C) 一般	しくみ解明系領域 教授 須藤 秀 紹	高齢者生涯学習支援のための学習活動 パーソナライズシステムの開発	1,000	300	1,300
	しくみ解明系領域 准教授 倉 重 健太郎	深層強化学習による多目的環境下での 調和的行動の実現	200	60	260
	しくみ解明系領域 准教授 澤 田 研	匂い分子結合タンパク質の生理機構の 解析と薬剤輸送キャリアーへの応用	800	240	1,040
	しくみ解明系領域 准教授 高 瀬 舞	高感度表面増強旋光度計測法の開発と 分子異性化のin situ可視化への応用	1,800	540	2,340
	ひと文化系領域 教授 塩 谷 亨	ポリネシア諸語における同系の前置詞 の用法の対応及び差異に関する対照研 究	300	90	390
	ひと文化系領域 准教授 小 川 祐紀雄	一般の自動車による広域センシングの ための管理可能な情報収集プラット フォームの確立	1,000	300	1,300
	ひと文化系領域 准教授 曲 明	Moodleを活用したオンライン国際交 流・協働型中国語教育モデルの開発	900	270	1,170
	名誉教授 桂 田 英 典	Harder予想およびそれに関連する総 合的研究	1,600	480	2,080
若手研究	もの創造系領域 助教 藤 平 祥 孝	コンポーネント化したテクスチャ構造 を有した多層構造流体指の開発	900	270	1,170
	ひと文化系領域 准教授 内 免 大 輔	臨界型非線形楕円型方程式における解 の集中現象の研究 -余質量を伴う集中-	700	210	910
	ひと文化系領域 准教授 白 尚 燁	サハリンエウエンキ語の記述：サハリ ンにおける言語接触とその歴史的変遷 の解明	300	90	390
合 計		22件	30,000	9,000	39,000

《継続分》

(千円)

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研 究 題 目	直接経費 内 定 額	間接経費 内 定 額	合計
基盤研究 (A) 一般	しくみ解明系領域 教授 岸 本 弘 立	SiCセラミックスラスタに高い靱性を 付与するハイパー・コンバージド技術	9,100	2,730	11,830
基盤研究 (B) 一般	もの創造系領域 教授 川 村 志 麻	破砕性を示す火山灰質土からなる自然 斜面の崩壊機構の解明と危険度評価シ ステムの開発	2,100	630	2,730
基盤研究 (C) 一般	もの創造系領域 教授 相 津 佳 永	サイバー空間分光データベースを活用 したクラウド型皮膚分析システムの開 発	900	270	1,170
	もの創造系領域 教授 木 村 克 俊	消波護岸の波浪による摩耗プロセスの 解明とその抑止システムの構築	1,200	360	1,560
	もの創造系領域 教授 木 幡 行 宏	繊維材で補強された流動化処理土の地 盤防災対策への適用に関する研究	800	240	1,040
	もの創造系領域 教授 関 根 ちひろ	充填スクッテルダイト化合物の多極子 自由度による異常物性の解明	1,100	330	1,430
	もの創造系領域 教授 寺 本 孝 司	複合モデル型プロセス表現を基にした 加工事例の共有と利用による切削加工 の精度保証	400	120	520
	もの創造系領域 教授 中津川 誠	機械学習法を活用して洪水被害の最小 化を図るダム操作支援技術の開発	900	270	1,170
	もの創造系領域 教授 濱 幸 雄	ゾノトライト系軽量高性能建材の開発	1,100	330	1,430
	もの創造系領域 准教授 有 村 幹 治	データ駆動型道路アセットマネジメン トモデルの構築	600	180	780
	もの創造系領域 准教授 内 海 佐和子	在留邦人が増加するアジア諸国におけ る日本の居住文化の継承と変容	500	150	650
	もの創造系領域 准教授 後 藤 芳 彦	有珠山の次期噴火予測対応研究：洞爺 カルデラと有珠山の全噴火史解明	700	210	910
	もの創造系領域 准教授 境 昌 宏	有機酸環境中における銅の腐食機構の 解明と微細加工技術への応用	500	150	650
	もの創造系領域 准教授 佐 藤 信 也	堤防やのり面におけるAIを用いた防 災用光ファイバ計測	500	150	650
	もの創造系領域 准教授 高 瀬 裕 也	コンクリートの効果的補修・補強に資 する細孔構造からメゾ構造を結ぶ劣化 機構の解明	800	240	1,040
もの創造系領域 准教授 永 井 宏	施工履歴を考慮した新設杭の支持性能 の評価	500	150	650	

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(C) 一般	もの創造系領域 准教授 廣田光智	超音波で消す革新的消火方法開発のための流れと火炎の干渉メカニズムと最適条件の解明	800	240	1,040
	もの創造系領域 准教授 溝端一秀	クランクアロー主翼を有する超音速機の過渡的流れ構造と動的空力メカニズムの解明	900	270	1,170
	もの創造系領域 助教 大石義彦	混相乱流せん断応力計を用いた粗密分布気泡による摩擦抵抗低減効果の最大化	1,800	540	2,340
	もの創造系領域 助教 楠本賢太	X線CTを援用したシリアルセクションングによる微細組織の定量評価手法の確立	1,000	300	1,300
	しくみ解明系領域 教授 戎修二	次世代物質開拓を目指した希土類硫化物における特異物性の機構解明と多極子由来の検証	500	150	650
	しくみ解明系領域 教授 大平勇一	高齢者の脱水状態を簡便に判定できる尿比重値判定グッズの量産化に向けた課題克服	900	270	1,170
	しくみ解明系領域 教授 亀川厚則	革新的磁石材料の為の新規SmFe5磁性化合物の開発	700	210	910
	しくみ解明系領域 教授 佐賀聡人	直交軸からの「さりげない」力覚サポートを体感できる空中描画インタフェースの実現	100	30	130
	しくみ解明系領域 教授 中野英之	新規メカノクロミックアモルファス分子材料の創出とアモルファス化度評価法の開拓	600	180	780
	しくみ解明系領域 教授 吉田雅典	嚥下困難者向けとろみ付液体食品用の粘性評価システムの構築と誤嚥防止安全基準の確立	1,400	420	1,820
	しくみ解明系領域 准教授 雨海有佑	アモルファスCe-Mn合金における巨大熱膨張現象の解明	400	120	520
	しくみ解明系領域 准教授 上井幸司	抗アルツハイマー病薬を目指す可溶性アミロイドβオリゴマー形成阻害物質の開発と評価	900	270	1,170
	しくみ解明系領域 准教授 岡田吉史	心電図から疑わしい心疾患への絞り込みを可能にする自動識別システムの開発	1,300	390	1,690
	しくみ解明系領域 准教授 神田康晴	新規脱硫触媒の耐硫黄性評価方法の開発と耐硫黄性発現のメカニズム解明	700	210	910

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(C) 一般	しくみ解明系領域 准教授 栞原 浩平	熱中症対策としてのファン付き衣服の有効性に関する研究	600	180	780
	しくみ解明系領域 准教授 佐藤 和彦	不安定環境下で安定稼働可能な協調型学習支援システムの開発とネパールでの実践活用	700	210	910
	しくみ解明系領域 准教授 澤口 直哉	Sea Glassに学ぶガラス固化体の化学的安定性評価シミュレーションの基礎開発	1,300	390	1,690
	しくみ解明系領域 准教授 柴山 義行	数と形状を制御した量子渦輪によるボース凝縮体ダイナミクス研究への新たなアプローチ	500	150	650
	しくみ解明系領域 准教授 馬渡 康輝	有機ハイドライド中の水素貯蔵量の迅速可視化を目指した π 共役らせん高分子の開発	900	270	1,170
	しくみ解明系領域 准教授 矢島 由佳	ウイルスのように「消える」多核単細胞アメーバ寄生菌の実体解明	800	240	1,040
	しくみ解明系領域 准教授 山中 真也	炭酸カルシウム系シングルソースマルチターゲット吸着剤の開発	1,300	390	1,690
	しくみ解明系領域 准教授 渡邊 真也	進化計算における深層学習を活用した汎用性と効率性を両立したメタ戦略の検討	1,100	330	1,430
	しくみ解明系領域 助教 李 鶴	平時・緊急時両立する耐災害IoTシステムに関する研究開発	800	240	1,040
	ひと文化系領域 教授 竹ヶ原 裕元	有限群のバーンサイド環の一般化に関する包括的研究	1,100	330	1,430
	ひと文化系領域 教授 前田 潤	災害支援研究：災害被害とその後の諸経験が適応状態に与える中長期的影響について	800	240	1,040
	ひと文化系領域 教授 松本 ますみ	習近平体制におけるキリスト教とイスラームの宗教中国化に関するポリティクス研究	1,100	330	1,430
	ひと文化系領域 教授 山路 奈保子	研究室コミュニケーションのための初級後半レベル日本語教育用教材の開発	900	270	1,170
	ひと文化系領域 准教授 清末 愛砂	アジア太平洋地域の国際養子縁組法制の比較分析に基づく政策提言－ジェンダー視点から	1,500	450	1,950
	ひと文化系領域 准教授 高橋 雅朋	枠付き曲線、枠付き曲面論の構築とその応用	800	240	1,040

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研 究 題 目	直接経費 内 定 額	間接経費 内 定 額	合計
基盤研究 (C) 一般	ひと文化系領域 准教授 三 村 竜 之	文献資料とフィールドワークに基づく アイスランド語アクセント史の基礎研究	200	60	260
	教 授 佐 藤 孝 紀	次世代直流高電圧送電を可能とする新 しい高性能ガス絶縁媒体の開発	600	180	780
若手研究	もの創造系領域 助 教 金 志 訓	アルカリ活性セメントの(C, N)-A-S-H ナノストラクチャー解析と高性能化	800	240	1,040
	もの創造系領域 助 教 孔 徳 卿	超音波による血管内ロボット推進シス テム	1,000	300	1,300
	もの創造系領域 助 教 高 橋 一 弘	新規プラズマ応用技術のための放電電 解によるROS/RNS生成モデルの開発	700	210	910
	もの創造系領域 助 教 武 内 裕 香	痛風の原因となる尿酸ナトリウム結晶 の磁場と光による新規検出法の開発	400	120	520
	しくみ解明系領域 准教授 太 田 香	Achieving 1-week Lifetime for 100/1000/10000 Meter Emergency Communications	900	270	1,170
	しくみ解明系領域 助 教 高 原 まどか	独居高齢者の社会的孤立と精神的孤独 の解消に向けたオンラインコミュニ ティ機構の創出	800	240	1,040
	しくみ解明系領域 助 教 宮 崎 正 範	複合アニオン配列決定を可能にする量 子ビーム複合解析による酸素スピン観 測法の確立	700	210	910
	ひと文化系領域 講 師 阿知良 洋 平	技術学習の教育学的蓄積の再検討とそ の現代的再構成	900	270	1,170
研究活動 スタート支援	もの創造系領域 助 教 井 口 亜希人	高性能光デバイス創出のための双方向 ビーム伝搬法に基づく新たな構造最適 化法の開発	1,100	330	1,430
合 計		56件	56,000	16,800	72,800
総 合 計		78件	86,000	25,800	111,800

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額(千円)
もの創造系領域 教授 青柳 学	中 小 企 業	1,100
もの創造系領域 教授 相津 佳永	大 企 業	1,235
もの創造系領域 教授 内海 政春	中 小 企 業	1,260
もの創造系領域 教授 内海 政春	大 企 業	2,200
もの創造系領域 教授 北沢 祥一	大 企 業	500
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	1,500
もの創造系領域 教授 清水 一道	大 企 業	1,000
もの創造系領域 教授 清水 一道	大 企 業	1,078
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	1,000
もの創造系領域 教授 清水 一道	大 企 業	1,000
もの創造系領域 教授 清水 一道	大 企 業	1,000
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	290
もの創造系領域 教授 清水 一道	そ の 他	1,000
もの創造系領域 教授 清水 一道	大 企 業	2,000
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	1,500
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	1,500
もの創造系領域 教授 濱 幸雄	大 企 業	1,000

外部資金

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額(千円)
もの創造系領域 教授 濱 幸雄	地方公共団体	550
もの創造系領域 准教授 境 昌宏	大企業	500
もの創造系領域 講師 長 船 康裕	地方公共団体	800
もの創造系領域 助教 中 田 大将	大企業	8,905
もの創造系領域 助教 藤 平 祥孝	大企業	585
しくみ解明系領域 教授 佐 伯 功	大企業	1,430
しくみ解明系領域 教授 塩 谷 浩之	中小企業	390
しくみ解明系領域 教授 塩 谷 浩之	大企業	420
しくみ解明系領域 准教授 上 井 幸司	大企業	650
しくみ解明系領域 准教授 神 田 康晴	中小企業	238
しくみ解明系領域 准教授 神 田 康晴	大企業	1,991
しくみ解明系領域 准教授 安 居 光國	大企業	780
しくみ解明系領域 准教授 山 中 真也	大企業	1,300
しくみ解明系領域 准教授 渡 邊 真也	大企業	2,600
しくみ解明系領域 准教授 渡 邊 真也	大企業	550
しくみ解明系領域 准教授 渡 邊 真也	大企業	585
しくみ解明系領域 特任教授 岸 上 順一	中小企業	4,820
合 計 (34件)		47,256

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額(千円)
公益財団法人電気通信普及財団	工学研究助成	1,000
公益財団法人岩谷直治記念財団	工学研究助成	2,000
精電舎電子工業株式会社	工学教育助成	500
一般財団法人港湾空港総合技術センター	令和3年度教育・研究環境改善のための助成	4,400
アベテック株式会社	工学教育助成	50
釧路工業高等専門学校	工学研究助成	71
釧路工業高等専門学校	工学研究助成	264
合 計 (7件)		8,285

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額(千円)
もの創造系領域 教授 河合秀樹	公益法人等	3,000
もの創造系領域 教授 北沢祥一	国	32,425
もの創造系領域 教授 吉成哲	独立行政法人	1,040
もの創造系領域 准教授 成田幸仁	その他	4,004
もの創造系領域 助教 金沢新哲	独立行政法人	1,999
しくみ解明系領域 助教 小林洋介	独立行政法人	1,658
しくみ解明系領域 助教 中里直史	独立行政法人	800
合 計 (7件)		44,926

その他の補助金の受入れ

事業名	研究代表者・職・氏名	事業元	金額(千円)
2021年度自転車等機械振興事業	もの創造系領域 教授 上羽正純	公益財団法人JKA	2,801
令和3年度中小企業経営支援等対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)	もの創造系領域 教授 清水一道	北海道経済産業局	28,495
2020年度自転車等機械振興事業(2年目)	もの創造系領域 教授 水上雅人	公益財団法人JKA	5,000
2021年度自転車等機械振興事業	もの創造系領域 助教 孔徳卿	公益財団法人JKA	2,000
合計(4件)			38,296

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
令和3年5月1日	〈採 用〉 大学院工学研究科事務補佐員 希土類材料研究センター技術補佐員	上 野 香 織 杉 本 さ 恵	
令和3年4月30日	〈雇用期間満了〉 大学院工学研究科事務補佐員	杉 本 さ 恵	

表 彰

本学名誉教授の田中 雄一先生が、令和3年春の叙勲において、瑞宝中綬章を受章しました。



田中 雄一先生は、昭和38年3月に室蘭工業大学金属工学科卒業後、株式会社リコーにおいて昭和40年4月まで勤務の後、昭和42年3月に室蘭工業大学大学院工学研究科修士課程を修了し、同年4月に室蘭工業大学助手に着任し、同講師、同助教授を経て、昭和58年7月に教授に昇任しました。平成16年3月に本学を定年にて退職されるまで教育・研究に努めた他、平成7年に工学部機械システム工学科長、平成8年に地域共同研究開発センター長を歴任されるなど、大学の管理運営にも貢献され、平成16年4月に室蘭工業大学名誉教授になられ今日に至っています。

学内会議

学内各種委員会等の開催

< 3月25日～4月24日 >

開催日時 令和3年3月30日（火）
会議名 第25回役員会

開催日時 令和3年4月2日（金）
会議名 第1回役員会

開催日時 令和3年4月8日（木）
会議名 第1回教育研究評議会

開催日時 令和3年4月8日（木）
会議名 第2回役員会

開催日時 令和3年4月15日（木）
会議名 第1回教授会

開催日時 令和3年4月15日（木）
会議名 第1回大学院工学研究科博士後期課程専攻長会議

開催日時 令和3年4月20日（火）
会議名 第3回役員会

開催日時 令和3年4月21日（水）
会議名 第1回経営協議会

開催日時 令和3年4月21日（水）
会議名 第4回役員会

開催日時 令和3年4月21日（水）
会議名 第1回学長選考会議

学内行事

- 3月26日（金） 北海道版トビタテ令和2年度帰国報告会
- 3月26日（金） HES更新審査
- 3月29日（月） 寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」年度末報告会
- 3月30日（火） 北海道企業局，日本工学院専門学校，室蘭工業高等学校との官学連携事業に関する基本協定締結式
- 3月31日（水） 退職時辞令交付
- 4月1日（木） 辞令交付
- 4月5日（月） 令和3年度入学宣誓式
- 4月6日（火） 辞令交付
- 4月7日（水） 室蘭工業大学初任教職員研修

学外行事

- 3月25日（木） 大学改革カンファレンス2021（オンライン）
- 3月26日（金） 室蘭市開港150年・市制施行100年記念事業実行委員会設立総会（室蘭市）
- 4月14日（水） 令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰表彰式（オンライン）
- 4月16日（金） 第4期中期目標期間における国立大学法人運営交付金の在り方に関する検討会（オンライン）

編集後記

◆ 教職員の皆様からの随想，提言等の御寄稿，あるいは学報への御意見，御希望，また，日頃感じていることなど多数お寄せくださるようお待ちしております。

(リンコム：総務広報課総務広報係，E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308